

広げよう

創刊号 (2001. 3)

コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会会報



主な内容

2・3 身近な活動を広めるために

～彩の国顕彰事業～ (シラコバト賞、ふるさとづくり賞、花いっぱいコンクール)

グラウンドワークから始めるコミュニティづくり

～彩の国グラウンドワーク推進事業～

4 平成13年度事業予定カレンダー
会員募集のお知らせ

身近な活動を広めるために

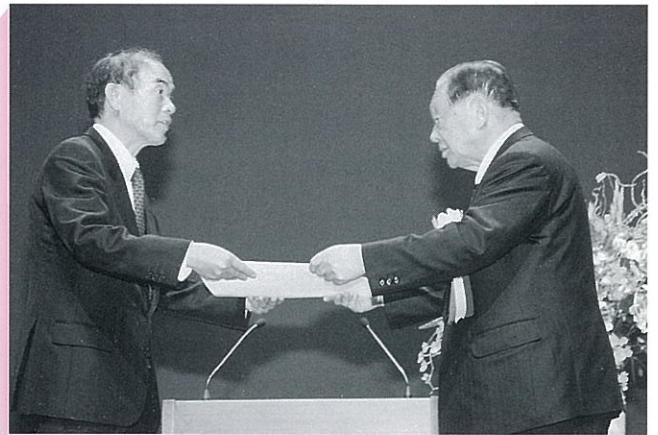
～彩の国顕彰事業～

朝、通勤、通学する時に、毎日、道路を清掃している人を見かけることはありませんか？

彩の国コミュニティ協議会では、こうした、住みよい地域社会にするために様々なコミュニティ活動を続けている方々に、感謝の気持ちを込めて、「シラコバト賞」、「ふるさとづくり賞」、「花いっぱいコンクール」の表彰を行っています。

毎年11月14日の「県民の日」記念式典で、会長である土屋知事から表彰状と記念品を贈呈しています。平成12年度は、さいたまスーパーアリーナで開催しました。

ここでは、それぞれの賞について紹介します。



▲土屋知事からの表彰状の贈呈

シラコバト賞

シラコバト賞は、住みよい地域社会にするために、日ごろ、身近なところで、長年にわたり地道に活動を続けている個人や団体に贈られる表彰です。

この賞は、昭和44年から始まり、その名前は、県民の鳥「シラコバト」から名付けられたものです。

平成12年度は、282件という多くの推薦をいただき、個人135名、団体65団体に贈呈しました。

対象となる活動

協議会では、豊かな彩の国づくりを進めるために、4つの運動方針により事業を行っています。そこで、シラコバト賞も、この4つの運動方針にそった活動を表彰の対象にしています。それぞれの活動内容について、例をあげて紹介します。

①心のふれあいを深める活動

孤立しがちな一人暮らしの高齢者に、給食サービスを行ったり、通院の送迎、話相手になったりする活動です。この活動を通じて、精神面でも支えになって、常に温かな心で接し、心の交流を深めています。

②健やかな心身を育てる活動

地域の子供たちに、公民館や子供会などで、紙芝居や絵本を読み聞かせしたりする活動です。この活動を通じて、心豊かに育ててほしいという願いで子供たちの健全育成に努めています。

③住みよいふるさとをつくる活動

ゴミで汚れた道路を清掃したり、アルミ缶回収などのリサイクル活動、道路脇に花を植えたりする活動です。この活動を通じて、きれいな住みよいまちづくりに努めています。

④郷土を知り、郷土を想う活動

古くから伝わる獅子舞の保存や伝承のために、地域の祭りに参加したり、子供たちに指導する活動です。この活動を通じて、後継者の育成、地域住民や世代間の交流に努めています。

ふるさとづくり賞

ふるさとづくり賞は、斬新な発想による個性豊かで、活力のあるふるさとづくりに取り組んでいる、優れた集団、市町村、企業に贈られる表彰です。

平成12年度は、県審査会で優秀賞に輝いた「あそびの学校」と「エコシティ志木」を中央審査会に推薦したところ、2団体ともに、ふるさとづくり振興奨励賞を受賞しました。

それぞれの活動について紹介します。

受賞団体の活動紹介

●「あそびの学校」（北本市）

教室は自然の中。教材は自分たちの身近なところにあるもの。先生は「ガキ大将チーム」のメンバー。地元の野外料理の達人や工作の達人など様々な特技をもっている達人たちの集まりです。

子供たちは、ガキ大将から空き缶を使った御飯の炊き方やダンボールを利用したテントづくりなど、様々な遊びや生活の知恵を学びます。ここを修了した子供たちは新たなガキ大将として、また、地域活動のリーダーとして活躍しています。

このユニークな体験学習によるふるさとづくりが高く評価されました。

●エコシティ志木（志木市）

市民の手による循環型の社会を目指して、市民団体のメンバーや環境問題に関心のある有志が集まり活動を始めました。3年がかりで「市民がつくる志木市の環境プラン」を作成して市に提出。このプランが市の環境基本計画に生かされました。また、市に働きかけて高齢者向けの福祉施設のなかった地区の小学校に「いきいきサロン」を開設するなど、現在17のプロジェクトに取り組んでいます。

行政や他の市民団体と協力して、より実りある活動へつなげることを常に心掛けながら、自ら計画し、それを実践した姿勢が高く評価されました。

花いっぱいコンクール

花いっぱいコンクールは、花や緑を育てることを通じて、ふれあいと思いやりのある美しい地域社会づくりを目指すため、花いっぱい運動に取り組んでいる学校及び職場や地域の団体に贈られる表彰です。

平成12年度は、県審査会で最優秀賞に輝いた「岩槻市立東岩槻小学校」（学校の部）と「東新井団地花クラブ」（職場・地域の部）の2団体を中央審査会に推薦したところ、東新井団地花クラブが自治大臣賞を受賞しました。

それぞれの活動について紹介します。

受賞学校（団体）の活動紹介

●岩槻市立東岩槻小学校（岩槻市）

「やさしさいっぱい、花いっぱい」をテーマに、全校で花いっぱい運動に取り組んでいます。

みんなで大切に育てた花や苗は、一人ひとりのありがとうの気持ちを込めて、市内の公共施設や敬老会などにプレゼントされ、大変喜ばれています。

花の栽培には地元の人たちが積極的に協力してくれているので、より地域に密着した花いっぱい運動になっています。

▼花に水やりをする
東岩槻小学校の児童たち



募集

皆さんの周りにも、このような地域の活動を続けている方やグループはいませんか？こうした方々がいましたら、ぜひ、ご推薦、ご応募ください。なお、詳しい内容は、それぞれの募集案内をご覧ください。募集案内は、会員の皆さんにも配布する予定です。ふるさとづくり賞や花いっぱいコンクールでは、職場での取組のご応募もお待ちしております。

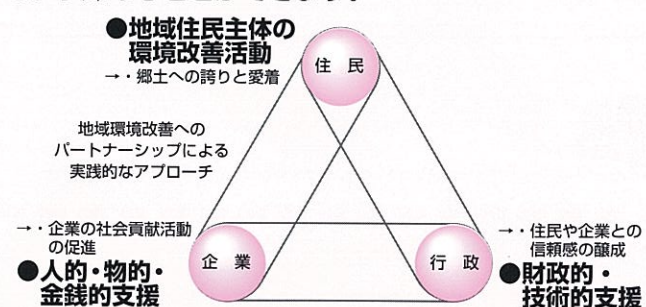
グラウンドワークから始めるコミュニティづくり

～彩の国グラウンドワーク推進事業～

みなさんは、「グラウンドワーク」という言葉を最近よく耳にしませんか？

グラウンドワークというのは、1980年代にイギリスで始まった運動で、地域を構成する「住民」、「企業」、「行政」の3者がパートナーシップを組んで、身近な地域の環境を改善していく活動のことです。

この活動を通して、住民には、地域の課題を解決するための主体性が芽生え、地域に対する愛着が生まれます。企業は、地域の社会貢献活動を行うことでイメージアップとなり、行政は、地域に対する理解や連携をより深めることができます。



グラウンドワーク活動というと、地域の環境が改善されることが成果と思われていますが、そこから一步先の、活動を通して培われる「人と人との絆」や「コミュニティの活性化」が一番の成果と考えています。

協議会では、グラウンドワーク活動に取り組む地域をモデル地区に指定して、その活動を支援しています。

それでは、平成12年度に指定されたモデル地区の取組を紹介しましょう。

●東新井団地花クラブ（大宮市）

「花づくり、人づくり、街づくり」を活動テーマに、団地を花と緑でいっぱいにする運動の中心となって活躍しています。

団地内で花の栽培の講習会を開いたり、低木のせん定をボランティアで行うことで、住民同士の交流が活発になりました。

最近では、市内の小学校の5、6年生の児童と一緒に、花や樹木の名前や特徴を書いたプレートづくりにも取り組み、花いっぱい運動の輪は団地から地域へと確実に広がっています。

①都幾川村上宿・下宿・上サ地区（どんぐり山保存整備活動）

この地域は、県を代表する古刹である慈光寺の門前町として古くから栄えた、村の顔ともいえるところです。近年、村に不在の地主が所有する山林の荒廃が進んでいます。

そこで、荒廃した山林を、不用な木々の伐採や花



▲遊歩道沿いに花の種まき

木の植栽をしたり、遊歩道の整備を行い、昔ながらの里山の姿を取り戻し、子どもから大人まで、自由に入って楽しめる「どんぐり山」を創ろうとしています。

②羽生市三田ヶ谷地区（宝蔵寺沼ムジナモ自生地植生回復活動）

ムジナモは食虫植物で、植物の中では珍しく根をもたない、水面に浮いて生活している水草です。国内唯一の自生地である三田ヶ谷の宝蔵寺沼は、国の天然記念物に指定されています。

しかし、大気汚染や薬害などにより自生地の水質が悪化し、絶滅の危機に立たされました。

そこで、自生地の水路を清掃したり、ムジナモの

増殖技術の研究、栽培、放流をするなどの保存、保護活動を行っています。この活動を通じて、地域の環境を守る心を育てています。



ムジナモの花▶

平成13年度 事業予定カレンダー

4月

「ふるさとづくり賞」募集開始

5月

理事会
「シラコバト賞」募集開始

6月

定期総会
生活学校連絡協議会定期総会・研究集会
「花いっぱいコンクール」募集開始
地域協議会・市町村協議会助成金交付申請書期限

会費納入

7月

生活学校運動関東甲信越静ブロック研究集会

8月

グラウンドワーク委員会

9月

企画委員会

10月

グラウンドワーク講演会

11月

「県民の日」記念事業
・シラコバト賞・ふるさとづくり賞・花いっぱいコンクールの贈呈
・記念フリー乗車券発売
・彩の国めぐりスタンプラリー

12月
1月
2月

3月

グラウンドワーク委員会
企画委員会
会報発行

＊ 会員募集のお知らせ ＊

彩の国コミュニティ協議会は、「豊かな彩の国づくり」を目指し、住民・企業・行政が一体となって、知恵と力を出し合い、住みよい地域社会づくりを進めるため、様々な取組を展開しています。

こうした取組は、会員の皆さんの協力によって成り立っています。今後、コミュニティ活動をさらに活発にするため、協力していただける新規会員を募集しています。

編集・発行

彩の国コミュニティ協議会
埼玉県県民生活課内

〒336-8501 浦和市高砂3-15-1
TEL048-830-2819
FAX048-830-4750